



## 2021年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社バリューデザイン 上場取引所 東  
 コード番号 3960 URL https://www.valuedesign.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾上 徹  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 稲垣 智史 (TEL) 03(5542)0088  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年6月期第1四半期の連結業績(2020年7月1日~2020年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年6月期第1四半期	555	△0.6	26	—	10	—	7	—
2020年6月期第1四半期	558	16.1	0	△95.3	△4	—	△8	—

(注) 包括利益 2021年6月期第1四半期 6百万円(—%) 2020年6月期第1四半期 △7百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年6月期第1四半期	円 銭 4.84	円 銭 4.64
2020年6月期第1四半期	△5.65	—

(注) 2020年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年6月期第1四半期	百万円 1,590	百万円 1,107	% 68.5
2020年6月期	1,464	846	57.0

(参考) 自己資本 2021年6月期第1四半期 1,089百万円 2020年6月期 834百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年6月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2021年6月期	—	—	—	—	—
2021年6月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年6月期の連結業績予想(2020年7月1日~2021年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,622	5.9	103	△25.1	90	△26.3	48	△36.3	31.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年6月期1Q	1,614,600株	2020年6月期	1,534,600株
② 期末自己株式数	2021年6月期1Q	125株	2020年6月期	125株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年6月期1Q	1,548,388株	2020年6月期1Q	1,469,423株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

機関投資家・アナリスト向けの説明会は当社第1四半期では開催しませんが、決算補足説明資料については、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症によるインバウンド需要の消失、企業活動の停滞により経済状況は悪化しましたが、感染拡大防止に配慮しながらの大規模な経済政策の効果もあり、個人消費は持ち直しつつあります。しかしながら、経済活動の回復に向けた動きは鈍く、依然先行き不透明な状況にあります。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間における売上高は、初期売上が前年同期比12.5%減、システム利用料売上が前年同期比7.1%増となり、総売上高は555,548千円(前年同期比0.6%減)となりました。販売費及び一般管理費は、新型コロナウイルス感染症の影響による遠方の商談や海外拠点とのコミュニケーションのリモート化による出張費の減少などにより、6.9%減となりました。その結果、営業利益は26,922千円(前期は営業利益138千円)となりました。

当社グループの所属する電子決済市場においては、政府が主導するキャッシュレス決済の普及推進活動を受け引き続き活況の様相を呈しており、2020年6月まで実施された「キャッシュレス・消費者還元事業」では、キャッシュレス決済の導入率が10%以上増加するなどの効果も確認されております。(一般社団法人キャッシュレス推進協議会「キャッシュレス調査の結果について」より)

このような状況のもと、当社グループが事業展開している「バリューカードASPサービス」も、引き続き導入企業数、店舗数を伸ばしており、2020年9月末時点で導入企業数795社、導入店舗数82,696店舗へと増加しております。新規導入は、引き続き量販店や飲食チェーンなどの業種を中心に進んでおります。導入済企業の取扱高においては、「キャッシュレス・消費者還元事業」終了に伴う影響は少なく、スーパーマーケット・ドラッグストア・ホームセンターなどを中心に好調を維持しております。また、2020年9月より開始された「マイナポイント事業」において、当社顧客企業の同事業への参加支援(参加に必要なシステムの提供など)を行っており、それによる収益も発生しております。

2020年9月には中期経営計画を発表し、当社の提供サービス(価値)について、プリペイドプロセッサ(残高管理)システムから、決済データを用いたデジタルマーケティングへの転換を目指すことを発表いたしました。その一環として、2020年8月にはデジタルギフト(ValueGift)サービスの開始、マーケティングソリューション事業を展開する株式会社VOYAGE MARKETING(株式会社CARTA HOLDINGSのグループ会社)との業務提携などを行っております。併せて、同中期経営計画の達成に向けて約11億円の資金調達を、2020年9月に第三者割当による新株予約権の発行を行っております。なお、第三者割当による新株予約権の発行に関わる弁護士報酬費用や財務アドバイザーに対する成功報酬フィーなどの諸費用が発生しており、営業外費用に株式交付費を計上しております。

また、新型コロナウイルス感染症による影響に関しては、期初の予測通り、当社の業務運営上の直接の影響はなく、当社サービスの導入企業の取扱高についても概ね想定の通りで推移しております。ただし、今後の見通しについては未だ予断が許されない状況であります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高555,548千円(前年同期比0.6%減)、営業利益26,922千円(前年同期は営業利益138千円)、経常利益10,504千円(前年同期は経常損失4,884千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益7,499千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失8,306千円)となりました。

セグメントの事業業績は、次のとおりであります。

## ① ハウスプリペイドカード事業

ハウスプリペイドカード事業においては、「キャッシュレス・消費者還元事業」の終了後も、同事業参加企業の取扱高の大幅な減少は見られず、またそれ以外の大型スーパー等におけるプリペイドの利用も引き続き好調であり、システム利用料売上は前年同期比で9.2%増となりました。初期売上においては、新規導入に伴う売上のほか、2020年9月開始の「マイナポイント事業(※)」への、当社サービス導入企業の参加支援サービス(ハウスプリペイドの決済実績やポイント受領を行うシステムの提供など)による売上が発生しております。一方で、前年同期に発生したチャージ機の販売集中等は発生せず、初期売上は前年同期比16.8%減となりました。

販売費及び一般管理費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、遠方の商談や既存顧客のフォロー面談を概ねリモート化したことなどにより、前年同期比13.7%減となりました。

この結果、当セグメントの売上高は512,065千円(前期比1.7%減)、セグメント利益(営業利益)は111,428千円(前期比34.0%増)となりました。

(※) 2020年9月～2021年3月までの間、総務省の主導により実施。マイナンバーカードを使用して申し込みを行い、申込時に選択したキャッシュレス決済サービスを使用した際、ポイントが付与される仕組み。

## ② ブランドプリペイドカード事業

当セグメントにおいては、前連結会計年度から引き続き既存イシュー(カード発行会社)とその提携先(注)を中心に事業を行っております。当第1四半期は既存案件のカスタマイズ開発等の要因があり、売上高は43,482千円(前期比14.2%増)となり、セグメント損失(営業損失)は1,751千円(前期はセグメント損失6,896千円)となりました。

(注) 提携先とは、カード発行会社(イシュー)が運営する資金決済サービスを利用して、事業者自らの顧客(会員組織等)に対してプリペイドカード、会員カード等のサービスを行う事業者のことを指します。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて125,600千円増加し、1,590,242千円となりました。これは主として、現金及び預金が233,493千円増加した一方、売掛金が91,257千円減少したことによるものです。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて135,632千円減少し、482,442千円となりました。これは主として、未払金が36,891千円、未払法人税等が49,154千円減少したことによるものです。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて261,233千円増加し、1,107,800千円となりました。これは主として、新株予約権(行使価額修正条項付)の行使による新株の発行に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ123,760千円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月期の業績予想につきましては、現時点では2020年8月14日に発表いたしました予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	681,924	915,418
売掛金	368,061	276,803
たな卸資産	15,881	13,953
その他	55,478	56,284
貸倒引当金	△5,731	△3,032
流動資産合計	1,115,614	1,259,427
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	27,624	26,156
工具、器具及び備品（純額）	113,263	107,398
リース資産（純額）	12,319	3,812
その他（純額）	973	751
有形固定資産合計	154,181	138,119
無形固定資産		
ソフトウェア	69,014	62,874
ソフトウェア仮勘定	—	8,050
その他	131	127
無形固定資産合計	69,145	71,051
投資その他の資産		
投資有価証券	30,000	30,000
敷金及び保証金	62,556	61,194
繰延税金資産	23,063	20,202
その他	11,113	10,739
貸倒引当金	△1,031	△491
投資その他の資産合計	125,701	121,645
固定資産合計	349,028	330,815
資産合計	1,464,642	1,590,242

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	107,170	93,633
1年内返済予定の長期借入金	170,004	170,004
リース債務	6,277	1,475
未払金	127,743	90,852
未払法人税等	53,686	4,531
その他	78,220	52,217
流動負債合計	543,102	412,714
固定負債		
長期借入金	71,661	66,660
リース債務	1,119	747
退職給付に係る負債	2,192	2,320
固定負債合計	74,972	69,728
負債合計	618,075	482,442
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	731,199	854,959
資本剰余金	728,275	852,035
利益剰余金	△623,424	△615,924
自己株式	△409	△409
株主資本合計	835,641	1,090,660
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△807	△1,495
その他の包括利益累計額合計	△807	△1,495
新株予約権	9,929	17,511
非支配株主持分	1,803	1,122
純資産合計	846,567	1,107,800
負債純資産合計	1,464,642	1,590,242

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年7月1日 至2020年9月30日)
売上高	558,847	555,548
売上原価	308,941	296,112
売上総利益	249,906	259,436
販売費及び一般管理費	249,767	232,513
営業利益	138	26,922
営業外収益		
受取利息	82	8
その他	68	6
営業外収益合計	151	14
営業外費用		
支払利息	2,672	2,681
株式交付費	—	13,646
為替差損	2,501	105
その他	0	0
営業外費用合計	5,174	16,433
経常利益又は経常損失(△)	△4,884	10,504
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△4,884	10,504
法人税、住民税及び事業税	837	837
法人税等調整額	2,786	2,860
法人税等合計	3,623	3,698
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,508	6,805
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△201	△693
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,306	7,499

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,508	6,805
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	1,398	△674
その他の包括利益合計	1,398	△674
四半期包括利益	△7,109	6,130
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△6,908	6,811
非支配株主に係る四半期包括利益	△201	△680

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使による新株の発行に伴い、資本金123,760千円、資本準備金123,760千円がそれぞれ増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金854,959千円及び資本剰余金852,035千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	ハウスプリペイドカード事業	ブランドプリペイドカード事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	520,781	38,066	558,847	—	558,847
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	520,781	38,066	558,847	—	558,847
セグメント利益又は損失(△)	83,142	△6,896	76,246	△76,107	138

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△76,107千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	ハウスプリペイドカード事業	ブランドプリペイドカード事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	512,065	43,482	555,548	—	555,548
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	512,065	43,482	555,548	—	555,548
セグメント利益又は損失(△)	111,428	△1,751	109,676	△82,754	26,922

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△82,754千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結年度の有価証券報告書の「注記事項（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り）」に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

## (重要な後発事象)

(合弁会社の設立)

当社は、2020年10月20日開催の取締役会において、株式会社VOYAGE GROUP（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：宇佐美 進典）と、合弁会社を設立することを目的とした合弁契約書を締結することを決議し、2020年12月1日付で以下の通り合弁会社の設立を予定しております。なお、当該合弁会社は当社の持分法適用関連会社となる予定です。

## (1) 合弁会社設立の目的

昨今の消費増税とキャッシュレス・消費者還元事業などの効果により、キャッシュレス決済利用者が増加し、QRコード決済の利用率や電子マネー決済の利用率が伸長しています。また、国内キャッシュレス決済市場規模（現金以外の支払手段での決済総額）は、引き続き拡大すると予測されており、今後も顧客のタッチポイントのモバイルシフトが加速し、消費行動の変化などに迅速に対応する必要性があると考えられます。

これらの市場環境を背景に、兼ねてより企業の販促や集客などのCRMサービスにおいて、株式会社VOYAGE GROUPの子会社でマーケティングソリューションを展開する株式会社VOYAGE MARKETINGと協業を進めておりました。

このたび、提携関係をより強化し、事業推進をさらに加速させるべく、株式会社VOYAGE GROUPと小売業などの企業を対象に、顧客との接点やコミュニケーション活動におけるデジタル化を支援する事を目的とした新会社を合併で設立する事にいたしました。

## (2) 合弁会社の概要

① 会社名	未定
② 所在地	東京都渋谷区道玄坂一丁目21番1号 渋谷ソラスタ15階
③ 資本金	10,000千円
④ 出資比率	株式会社VOYAGE GROUP 51% 株式会社バリューデザイン 49%
⑤ 事業内容	デジタルソリューション事業
⑥ 設立年月日	2020年12月1日（予定）